

2009年2月4日

お客様各位

日商エレクトロニクス株式会社
エンタープライズ事業本部
第三営業統括部

MOS4.1.4- GA リリースのご案内

拝啓 貴社益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、この度 MOS4.1.4-GA のリリースを弊社より開始させていただきます事をご案内申し上げます。バージョンアップをご希望されるお客様は、下記内容をお読みの上インストールをご実施頂きます様、宜しく願い申し上げます。

敬具

・記・

■対象のお客様

Mirapoint 6シリーズハードウェアモデルをご使用中で、かつ次のいずれかを満たすお客様となります。

- ・MOS4.0.4a-GA、若しくはMOS4.0.5a-GAで運用中のお客様
- ・購入から一年以上以内、若しくは保守契約を締結されているお客様

■MOS4.1.4-GAの新機能と変更点

<新機能>

MOS4.0.4a-GA、4.0.5a-GA以降、新たに次の機能が追加されました。

1. STARTTLS Support in IMAP and POP
従来のSMTPIに加え、POPとIMAPIに於いてもSTARTTLSをサポートしました。
2. SMTP Banner Delay
SMTP接続時のGreeting Message応答を意図的に遅延させることが可能となりました。
3. IdentHost
SMTP接続時のGreeting Message応答時に出力するFQDN名が変更可能となりました。
4. Webmail送信制限
1messageあたりの宛先数制限、時間あたりの送信数/総宛先数制限が可能となりました。
5. AutoReply
自動返信に於いて組織内外毎の定型文の設定、開始/終了日時の設定が可能となりました。
6. SPF

SPF(Sender Policy Framework)による、詐称検知が可能になりました。

(DNS検索対象:TXTレコードのみ、 構文:”exist”, “exp”は未サポート)

7. ReputationHurdle

SMTP接続元IPについて、コムタッチDBをリアルタイムで参照し、その結果によって予め定義した処理(drop, fail, 他機能への引継ぎ等)を実行する機能が加わりました。

<主な変更/修正項目>

MOS4.0.4a-GA、4.0.5a-GA以降、次の項目が変更、及び修正されました。

1. ライセンス

License listコマンドで出力されるライセンス名が変更されました。

2. Mailboxあたりの通数制限

一つのMailboxで格納出来るメッセージ通数がPrimaryDomainに限り15万通に拡張されました。
(DelegatedDomainは従来通り5万通制限)

3. NTP

NTPサーバを設定しているにも関わらず時刻がずれる問題が発生しておりましたが、本バージョンにて修正されました。

■MOS4.1.4-GA 既知の問題

MOS4.1.4-GAに於いて、次の問題が見つかっております。

1. AutoReply

- ・AutoReply機能をIdap連携させた場合、Idap側に更新内容が反映されません
- ・BackupデータをFullリストアしてもAutoReplyに関する個人設定が全て戻りません

2. コネクションログ

SSHによるログインのアクセス元IPが、コネクションログに記録されません。

3. フィルター

EnvelopeToを条件に指定した場合、フィルターが機能しません。

4. NDMP

SelectiveRestoreを行った場合、次の項目が戻りません。

- ・ユーザスパム関連設定(WhiteList, BlackList, WhiteListTo)
- ・メッセージフラグ

(注)サポート対象Backupサーバソフト: NetVault8.2、NetBackup6.5

■MOSバージョンアップの前に

バージョンアップの実施に際して、次の点にご注意ください。

注1) バージョンアップ進行中は、システムを再起動しないでください。バージョンアップ終了後に自動的に再起動が実施されます。尚、バージョンダウンは出来ません。

- 注2) ブランディングを実施されている場合、事前に現在のブランディングファイルを取得しておき、バージョンアップ終了後に再適用してください。尚、古いMOS バージョンのブランディングは引継げない可能性があります。その場合は、お客様ご自身にてブランディングを再作成して頂く必要があります。
- 注3) クラスタシステムをバージョンアップする場合、クラスタを解除後(Standby 停止後)にバージョンアップを実施してください。
- 注4) スプールサーバをバージョンアップする場合、事前にシステムのフルバックアップを実施される事をお勧めします。RazorGate シリーズの場合は、システムコンフィグを事前にバックアップしてください。
- 注5) MOSバージョンアップを実施するには、Upgrades Allowed ライセンスが必要です。ご使用中のMirapoint にインストールされている事を事前にご確認ください。

```
CLI > license status
Upgrades Allowed
```

■MOS4.1.4-GA の入手先

メーカーFTP サイトからモジュールをダウンロードしてください。

ダウンロードしたモジュールは、バージョンアップ対象のMirapoint からアクセス可能なネットワーク上のanonymousFTP サーバ、若しくはHTTP サーバに一旦保存してください。

入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/R4_1_4_GA.mpu5

■MOS4.1.4-GA へのバージョンアップ方法

事前にサービスを停止し、必要に応じてBackupを実施した上で実行します。

① Mirapoint にadministratorでコマンドログイン

② update install コマンドを実行

<anonymousFTP サーバをご利用の場合>

```
CLI > update install ftp://ftp サーバのFQDN(/パス)/ファイル名
```

<HTTP サーバをご利用の場合>

```
CLI > update install http://http サーバのFQDN(/パス)/ファイル名
```

実行例)

②-1. update install コマンドを実行

```
CLI > update install http://192.168.xxx.xxx/mirapoint/ R4_1_4_GA.mpu5
```

②-2. 上記コマンド実施後、次のメッセージが表示されますので「y」を入力

```
Some updates can automatically reboot the system. Continue? (y/n)
```

※インストール完了後、Mirapoint は自動的に再起動します

③ バージョン確認

再起動完了後、administratorにて再度コマンドログインしバージョンを確認します。

CLI > version (MOS4.1.4-GAと出力されればバージョンアップは完了です)

■Patch

MOS4.1.4-GAへバージョンアップ後、次のPatchの適用をお勧めします。

適用は、MOSバージョンアップと同様にupdate installコマンドを用いて実行します。

(バージョンアップ方法の項参照)

・D4_1_4_SP_1

以前のMOSバージョンで見つかった稀に起こり得るいくつかの問題が本Patchで修正されております。※全サービス再起動

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/D4_1_4_SP_1.mpu5)

・D4_Adjust_SMTP_Params

smtp通信終了後、相手側MTAに対してQUIT コマンドを即発行するPatchです。

※smtp再起動

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/mert/D4_Adjust_SMTP_Params.mpu5)

※本Patchのみ update install 時にオプションを指定する必要があります。

CLI > update install http://192.168.xxx.xxx/mirapoint/D4_Adjust_SMTP_Params.mpu5?timeQuit=120s&cacheSize=0

・E4_antivirus_DA

VirusCheckに於いて、passwordで保護された添付ファイルをスキャンした場合、デフォルト動作のスキャンが失敗したとのメッセージが対象メールの本文に挿入されます。このメッセージ挿入を実施させない場合に本パッチを適用します。※サービス再起動なし

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/E4_antivirus_DA.mpu5)

■お問い合わせ窓口

日商エレクトロニクス株式会社

エンタープライズ事業本部 第三営業統括部 (担当: 森)

e-mail: kzmori@nissho-ele.co.jp

以上